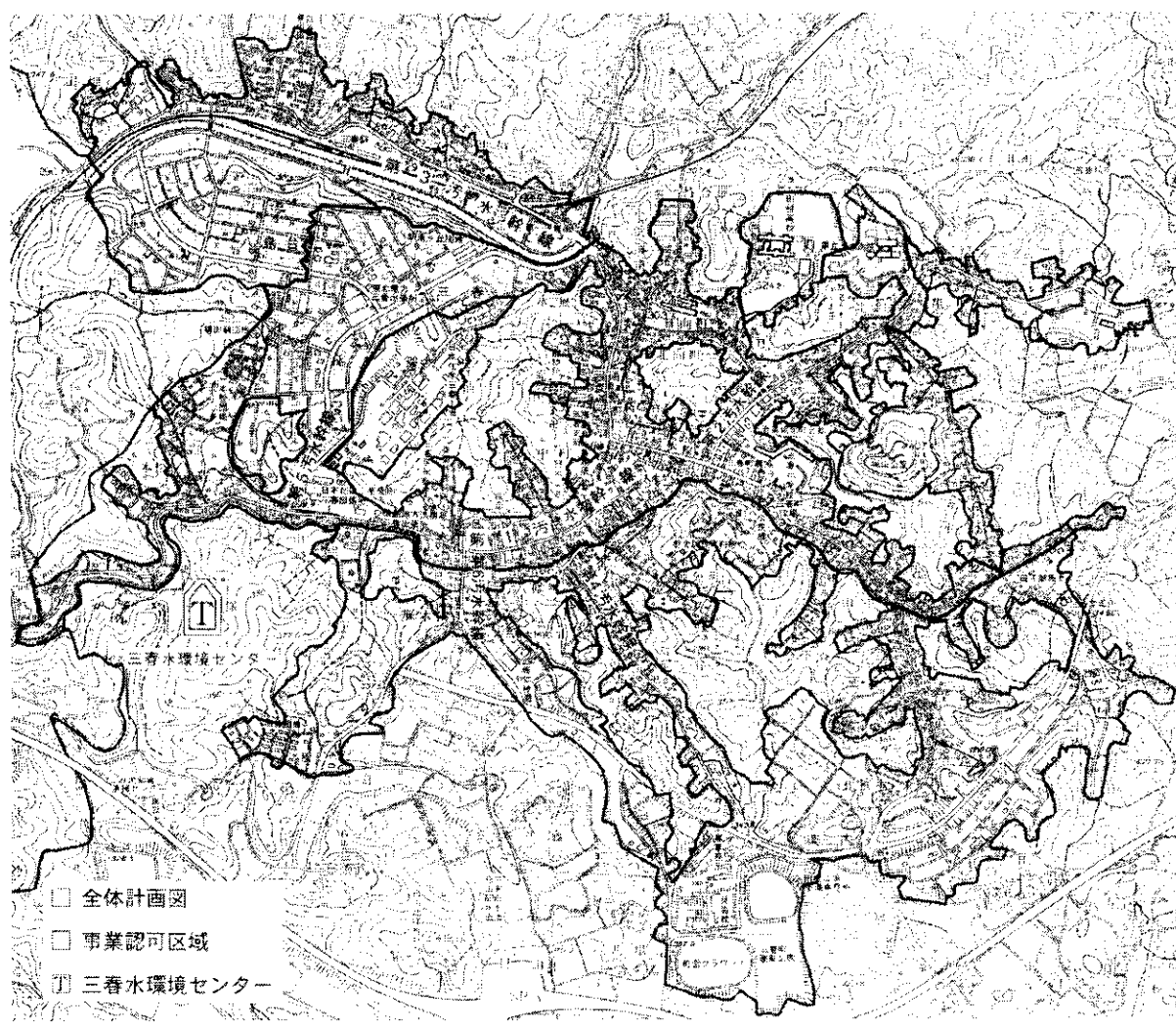


事業名	三春町公共下水道事業（三春処理区）	（福島県）	事業主体	三春町
計画概要	事業着手年度：平成5年度 処理施設名：三春水環境センター 計画処理面積：295（ha） 計画処理人口：13,100（人） 計画処理水量：6,800（m ³ /日）			
事業概要	三春町公共下水道事業においては、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を目的に事業を実施しており、平成12年度より一部において供用を開始している。			

（事業概要図）



※費用便益比

総事業費 （億円）	便益（B）		費用（C） （億円）	B/C
	総便益 （億円）	便益の主な根拠		
105	151	便益算定人口 1.31 万人	121	1.25

事業採択後10年を経た事業に係る評価手法選定表

事業主体	三春町	処理区名	三春処理区	処理方法	OD法
事業種別	公共	処理施設名	三春水環境センター		分流式
現全体計画総事業費 (単位：百万円)	認可計画事業費(単位：百万円)			事業採択年度	平成5年度
	補対事業費	単独事業費	総事業費	供用開始年度	平成12年度
10,451	3,078	3,238	6,316		
項目	全体計画 (H3年度設定)	現全体計画 (H3年度設定)	現認可計画 (H11年度設定)	整備状況(H13年度末現在)	
事業概要	処理区域面積(ha)	295	295	98	整備面積 82.9 ha
	排水区域面積(ha)	—	—	—	整備面積 —
	計画処理人口(人)	13,100	13,100	4,070	供用開始人口 2,547 人
	内 観光人口	0	0	0	
	晴天時計画流入水量 (日最大) (m ³ /日)	6,800	6,800	1,700	現流入水量 250 m ³ /日
	汚水管渠延長 (m)	45,667	45,667	21,100	整備済延長 18,760 m
	雨水管渠延長 (m)	—	—	—	整備済延長 —
	汚水ポンプ場 (箇所)	—	—	—	整備済箇所 —
	雨水ポンプ場 (箇所)	—	—	—	整備済箇所 —
	処理場処理能力(m ³ /日)	6,800	6,800	1,700	現有汚泥処理能力 1,700 m ³ /日
汚泥処理能力(m ³ /日)	28	28	28	現有汚泥処理能力 28 m ³ /日	
項目別評価					
項目	評価				
上位計画及び関連事業との整合性	<ul style="list-style-type: none"> ・上位計画（福島県全区域下水道化構想）と整合している。 ・一級河川桜川改修事業の進捗状況と整合性を計りながら事業を進めている。 				
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年度末までの認可計画区域（98ha）における整備面積は82.9haであり整備率は84.6%に達しており、概ね計画通り進んでいる。また、三春水環境センター増設計画については、流入水量の伸びを見ながら対応していく。 				
地元情勢	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境の改善、公共用水域の水質保全等、水環境の保全における下水道の重要性が理解されてきている。 				
総合評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストによる再評価とする。 					

再 評 価 チェ ッ ク リ ス ト

事業主体	三春町	処理区名	三春処理区	処理方法	OD法
事業種別	公共	処理施設名	三春水環境センター		分流式
現全体計画総事業費 (単位：百万円)	認可計画事業費(単位：百万円)			事業採択年度	H5
	補対事業費	単独事業費	総事業費	供用開始年度	H12
10,451	3,078	3,238	6,316		
項 目	全体計画 (H3年度設定)	現全体計画 (H3年度設定)	現認可計画 (H11年度設定)	整備状況(H13年度末現在)	
事業概要	処理区域面積(ha)	295	295	98	整備面積 82.9 ha
	排水区域面積(ha)	—	—	—	整備面積 —
	計画処理人口(人)	13,100	13,100	4,070	供用開始人口 2,547 人
	内 観光人口	0	0	0	
	晴天時計画流入水量 (日最大) (m ³ /日)	6,800	6,800	1,700	現流入水量 250 m ³ /日
	污水管渠延長 (m)	45,667	45,667	21,100	整備済延長 18,760 m
	雨水管渠延長 (m)	—	—	—	整備済延長 —
	污水ポンプ場 (箇所)	—	—	—	整備済箇所 —
	雨水ポンプ場 (箇所)	—	—	—	整備済箇所 —
	処理場処理能力(m ³ /日)	6,800	6,800	1,700	現有汚泥処理能力 1,700 m ³ /日
汚泥処理能力(m ³ /日)	28	28	28	現有汚泥処理能力 28 m ³ /日	
項 目 別 評 価					
項 目	評 価				
事業費の推移	事業着手(平成5年度)から平成13年度までの事業費については、財政状況と整合を図りながら、計画に基づき適切に事業を進めている。				
処理場用地の取得状況	平成7年度までにすべて取得済みである。(63,236.47m ²)				
施設の供用状況	平成12年度(平成12年4月1日)に供用を開始している。				
雨水整備状況	雨水計画なし				
地元情勢の変化の有無	議会及び事業に係る地域住民は下水道事業に対する理解が得られている。また、未整備地区からも早急な整備が望まれている。				
社会経済状況	水環境保全を図る気運がクローズアップされている中で、水環境の悪化防止を進める必要があるため、事業実施に当たっては財政状況と整合を図りながら事業を進めている。				
自然環境条件	公共用水域(桜川)に係る環境基準等に変更されていないため、当初計画のとおり				
全体計画の変更	平成13年度に「福島県全区域下水道化構想」の見直しを実施されたため、今後上位計画との整合をとるため、現在の全体計画を見直しをする必要がある。				
費用効果分析	現在価値法による費用効果分析を行ったところ、費用便益(b/c)が1.25と下水道による整備効果が十分に期待できる。				
コスト削減・代替案の可能性	既に浅埋設及び新技術の導入等、可能な限りコスト削減策を検討し採用している。また、コスト面で集合処理より個別処理の方が効果的な箇所については合併処理浄化槽で実施していく。				
総 合 評 価					
継続して事業を行う					